

芸術科「音楽Ⅰ」学習指導案

広島県立府中高等学校
教諭 白石 沙誉子

- 1 実施日：令和2年11月5日（木）4限（12：40～13：30）
- 2 学年・学級：第1学年5・6組 音楽選択者22名（男子10名，女子12名）
- 3 場 所：講堂
- 4 題 材 名：ゴスペルの魅力
- 5 教 材 曲：「Oh Happy Day」
「Swing Low, Sweet Chariot」 他

6 題材について

(1) 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）の芸術「音楽Ⅰ」における「B鑑賞」（1）鑑賞のア（ア）（イ）「鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，曲や演奏に対する評価とその根拠，自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。」及びイ（イ）「音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解すること。」を受けて設定したものである。また，〔共通事項〕（1）のア「音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。」のうち，形式，リズム，旋律について指導することとする。

ゴスペルのルーツは，17世紀頃アメリカで奴隷として扱われていた黒人たちが歌った黒人霊歌にあり，その音楽的要素とキリスト教の讃美歌や聖書の内容が融合して生まれた声楽曲がゴスペルである。黒人霊歌は，アフリカから奴隷として連れてこられた黒人たちが，差別に苦しむ中でキリスト教の教えに深く共感し，救いを求めて歌い始めた歌であり，そのままゴスペルとして歌われている曲も多くある。黒人たちが困難な状況にあって，生きる希望として歌われ，愛されたゴスペルの文化的価値について理解することは，現在，コロナ禍におかれた生徒たちにとっても有意味であると考えられる。

『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 芸術編』には，「音楽Ⅰ」の科目の目標（3）について，「音楽を，自分にとってなくてはならないものと思い，生涯にわたって生活や社会に生かしていこうとする気持ちや態度を育むことが大切である。」と述べられている。本題材では，ゴスペルの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解し，ゴスペルのよさや美しさを自ら味わって鑑賞するとともに，音楽に対する価値意識を広げることがをねらいとする。

(2) 生徒観

本学級の生徒は，音楽の授業に真面目に取り組み，新しい知識や技能の習得，表現活動に対して意欲をもっている。しかし，今年度はコロナ禍における年度初めの休校，アイスブレイクやグループワーク・歌唱活動を制限してきたことなどもあり，意見の交流がやや消極的で，自分の考えを言語化することに苦手意識を持つ生徒が多い。意見交流などによる自分の考えを表現する学習場面を設定するとともに，より主体的で実感を伴う鑑賞活動を行うために，適切に表現活動（歌唱）を取り入れる。題材であるゴスペルについては，約90%の生徒に先行経験がなく，ゴスペルという言葉に対するイ

メージが持てない状況にあり、約10%の生徒はゴスペルを知ってはいるものの「教会の合唱」「外国人が歌っている」など漠然とした理解に留まっている。さらに、今回の題材において重要な「背景と音楽の特徴や知覚・感受したことを結び付けて考える」ことに取り組むのは、本題材が初めてである。

また、4・5月の休校中に課した音楽の意義について問うレポート課題（「アーティストは、いま生きるために必要不可欠な存在である」というモニカ・グリッターズドイツ文化相の言葉に関して、自分はどのように考えるか、理由とともに述べよ。）に対して、ほぼ全員がこの言葉に同意し、その理由を述べた。一方で、賛成する部分もあるが、今必要なのは医療や生活必需品であり、必要不可欠とは言えないという数人の意見も見られた。

(3) 指導観

生徒の学習状況を踏まえて、第一次では、映画「天使にラブソングを2」を鑑賞することによって、ゴスペルに興味・関心を持たせる。第二次では、「Oh Happy Day」の鑑賞や楽譜の分析を通して、ゴスペルのもつ音楽の特徴である形式（コール&レスポンスやボディアクションの活発さ）、リズム（シンコペーション多用などの独特のリズム感）、旋律（ブルーノートやフェイク）を理解させる。また、ここでは「Swing Low, Sweet Chariot」の歌唱表現活動を取り入れ、実感を伴った理解を促す。コール&レスポンスの効果や、和音の中にあるブルーノートの響きに言及しながら、楽曲のもつ雰囲気体験させることで、よりゴスペルのもつ音楽の特徴への理解を深めさせたい。第三次では、地歴公民科「世界史」と連携してゴスペルの歴史的背景を教科横断的に学習するとともに、ゴスペルに関連するいくつかの音楽（黒人霊歌・讃美歌・現代ゴスペルソングなど）の鑑賞を行い、その多様な魅力に気付かせる。第四次（本時）は黒人奴隷にとってのゴスペルとは何かを考えた上で、再度「Oh Happy Day」の鑑賞、「Swing Low, Sweet Chariot」の歌唱を行い、学習前とのとらえ方・感じ方の変容を生徒自身が実感し、より深くそのよさや美しさを味わえるようになることを期待している。そして、ゴスペルの魅力を自分なりの言葉で語れるようになることで、最終的には現代を生きる私たちにとっての音楽の必要性にも結び付けていきたい。

7 題材の目標

- (1) ゴスペルの文化的・歴史的背景や、表現の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
(音楽への関心・意欲・態度)
- (2) リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の文化的・歴史的背景や表現の特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わう。(鑑賞の能力)

8 題材の評価規準

ア 関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
<p>ゴスペルの文化的・歴史的背景や、表現の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の文化的・歴史的背景や表現の特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>

9 題材の指導と評価の計画（全7時間）

次	学習内容（時数）	評 価			
		関	鑑	評価規準	評価方法
第一 次	・「天使にラブソングを2」を鑑賞する。（2）	◎		ア	・行動観察 ・ワークシート
第二 次	・教材曲「Oh Happy Day」, 「Swing Low, Sweet Chariot」を鑑賞したり歌唱したりして、ゴスペルの音楽の特徴とその雰囲気を体感しながら学習する。（2）	○	◎	エ ア	・行動観察 ・ワークシート
第三 次	・「Oh Happy Day」「Swing Low, Sweet Chariot」の歌詞を見て、歌っている内容を考える。 ・ゴスペルの歴史的背景について学習する。 ・ゴスペルに関連するいろいろな曲を鑑賞する。（2）	○	◎	エ ア	・行動観察 ・ワークシート
第四 次	・ゴスペルのよさや美しさを創造的に味わって鑑賞する。（1ー本時）	○	◎	エ ア	・行動観察 ・ワークシート

10 本時の展開・・・第4次

(1) 本時の目標

ゴスペルの音楽の特徴と文化的・歴史的背景を踏まえてゴスペルの魅力を総合的に価値づけし、そのよさや美しさを創造的に味わう。

(2) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価規準 (評価方法)
<p>1 あいさつ</p> <p>2 前時までの振り返り 本時の学習内容と目標の把握 (5分)</p>	<p>◇これまでゴスペルについて学習してきたことを整理する。</p> <p>【目標】ゴスペルの特徴と背景をふまえてゴスペルのもつ魅力を考え、改めてそのよさや美しさを味わう。</p>	
<p>3 「黒人奴隷にとってゴスペルとはどんな存在であったか」を考え、互いの意見を共有する。 (7分)</p>	<p>◇これまでの学習のまとめとして、ゴスペルが黒人奴隷にとってどのような存在であったかを考え、他者と意見を共有する。</p> <p>◇個人で少し考えた後、3～4人組で話し合い、意見を出す。</p> <p>〈意見例〉 苦しい状況の中で唯一の自由であり、表現方法であり、生きる上での希望。</p>	
<p>4 「Swing Low, Sweet Chariot」の歌唱、映画「天使にラブソングを2」の「Oh Happy Day」の鑑賞を再度行い、背景や特徴を知る前と感じ方に変化があるか考える。 (20分)</p>	<p>◇ゴスペルの音楽の特徴や歴史的背景を学習して、それを知る前ととらえ方に変化があるか(もしくははないか)、それはなぜかを考える。</p> <p>〈意見例〉 実際に黒人奴隷の人たちが歌っている場面が浮かんできて、コール&レスポンスによる一体感を感じて祈るような気持ちになった。</p> <p>〈意見例〉 かつこいと感じた理由であったボディアクションとフェイクの迫りに引き込まれた。歴史的背景を知ると、「Oh Happy Day」という言葉がもつ重みを感じた。白人も黒人も関係なくひとつになって歌っていることに感動を覚えた。</p>	<p>エ・ア (ワークシート・行動観察)</p>
<p>5 題材全体の振り返りとして「自分自身にとってのゴスペルの魅力とは何か」をワークシートに記入し、意見交換をする。 (10分)</p>	<p>◇ゴスペルの魅力は何だと思えるか言葉にして整理することで、題材全体の振り返りを行う。</p> <p>〈意見例〉 ゴスペルは苦しみの中生まれた音楽だからこそ、美しいだけではなく力強い。心を打つ。</p> <p>〈意見例〉 人間らしく生き抜くために必要不可欠なものとして生まれたゴスペルのエネルギーが、人を引き付けるのではないかと思う。癒し・願い・祈り・感情のはけ口など、その意味や価値はひとつではないことも魅力のひとつ。</p>	
<p>6 「Oh Happy Day」を味わって聴く。 (5分)</p>	<p>◇これまでに学習したことをふまえて、最後に「Oh Happy Day」を聴く。</p>	
<p>7 本時のまとめ (3分)</p> <p>8 あいさつ</p>		